

アンティオキア：送り出す教会と争われた食卓

どちらのアンティオキアがパウロの宣教拠点でしたか。

シリアのアンティオキアはバルナバとパウロの主要な拠点で、ユダヤ人と異邦人の交わりをめぐる重要な対立の舞台でした。第一次宣教旅行で訪れたピシディア州のアンティオキアとは別の都市です。

証しによって形づくられた共同体

使徒言行録は、ステファノに関わる迫害によって散った信徒がアンティオキアへ到着したことを描きます。エルサレムから送られたバルナバは神の恵みを認め、後にタルソスからサウロを連れて来ます。二人の継続的な教えは、私的な提携ではなく共同体の中で行われます。使徒言行録は、キリスト者という名をアンティオキアと結び付けます。その教会は教えを受け、資源を分かち合い、人を送り出す共同体になります。

聖書の参照箇所: 使徒言行録 11章19～30節

出典: acts

祈り、派遣、報告

使徒言行録はバルナバとサウロの派遣に先立ち、多様な預言者と教師を挙げます。宣教者は旅の後に戻り、神が異邦人の間でなされたことを報告します。地図と読書計画では、シリアのアンティオキアとピシディア州のアンティオキアを区別してください。混同すると帰路も、送り出した教会の意味も分かりにくくなります。

聖書の参照箇所: 使徒言行録 13章1～3節・使徒言行録 13章14節・使徒言行録 14章26～28節

出典: acts

食卓で問われる福音

ガラテヤの信徒への手紙によると、共に食事をすることから退いたケファに、パウロが対抗します。その行動が異邦人をユダヤ人の実践へと圧迫したからです。パウロの関心は、行動が福音にかなうかどうかです。使徒言行録との厳密な年代の対応には議論がありますが、倫理的な問題は明らかです。キリストに属することを、分断された食卓で損なってはいけません。歓迎とは、外の人を受け入れるという抽象的な宣言だけでなく、生活を共にすることです。

聖書の参照箇所: ガラテヤの信徒への手紙 2章11～21節

出典: letters, chronology

出典

- [acts] Acts 7–28; passage references are supplied in each section. <https://ebible.org/web/ACT.htm>
- [letters] Romans through Philemon; passage references are supplied in each section. <https://ebible.org/web/>
- [chronology] Pauline Letters chronology: Acts, the letters, dated external anchors, and explicitly qualified reconstructions. <https://paulineletters.com/explore/timeline>

独自に制作した本文と画像：CC BY 4.0。聖書本文と第三者の素材は対象外です。

Pauline Letters · CC BY 4.0 · <https://paulineletters.com/ja/explore/resources/antioch>